

令和 5 年度 西原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の精神に基づき，知・徳・体の調和のとれた発達を目指し，自主・自立の精神を養い，日本国民の自覚をもって平和的な国家及び社会の形成者として貢献できる心身ともに健康な子どもを育成する。

〔目指す子供像〕

- 元気いっぱい活動する子・・・【元気】
- よく考え工夫する子・・・【がんばり】
- 思いやりがあり親切な子・・・【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

西原小学校は，多くの史跡や文化財に囲まれ，地域人材にも恵まれた地域にあり，創立 114 年の長い歴史の中で，地域の人々の熱い思いに支えられ育てられてきた学校である。

このような地域の特性を踏まえるとともに，新学習指導要領で示された「資質・能力の三つの柱」（「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力」「学びに向かう力，人間性」）を育成するために，「地域に開かれた信頼される学校づくり」，「知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の実践」，「チームとしての学校力を高めるための組織的な学校づくりの推進」を経営の基盤に据えて，教職員と家庭，地域が一致協力して確かな学力の育成，心豊かで心身共にたくましい児童の育成を目指す。

〔目指す学校像〕

心豊かでたくましく みんなで育て みんなで育つ 地域の学校づくり ～西原大家族の創造～

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

全教職員が信頼と協調を基盤とし，互いに高め合う人間関係の中で，学校経営に参画し，活力のある教育活動を推進すると共に，地域学校園における各学校間の連携を深め，小中一貫教育の充実を図る。

- （１）未来に向かって「生きる力（必要とされる資質・能力）」を育む学習指導の充実・・・〔生きる力の育成〕
- （２）夢を育む教育活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔キャリア教育の推進〕
- （３）学年・学級経営の充実と個に応じた支援の強化・・・・・・・・・・・・・・・・〔学校生活の充実〕
- （４）教職員の資質向上と学校力を高めるための組織的な学校づくりの推進・・・・・・・・〔学校力の強化〕
- （５）学校・家庭・地域との連携を基盤とした開かれた学校づくりの推進・・・・・・・・〔信頼される学校〕

〔一条地域学校園教育ビジョン〕

基本をしっかり身に付け，地域に生きる子供を育む一条地域学校園

4 教育課程編成の方針

- （１）教育基本法，学校教育法及び同施行規則，学習指導要領を踏まえ，栃木県教育委員会の指導の指針，宇都宮市教育委員会の「第 2 次学校教育推進計画後期計画」「うつのみや元気っ子プロジェクト」の示すところに従うとともに，地域とともにある学校づくりの趣旨を踏まえ，社会に開かれた教育課程を編成する。
- （２）教育目標の具現化を図るため，本校の実態（施設・設備・職員構成・地域環境），児童の発達段階や特性，地域社会や保護者の願いなどを踏まえ，心豊かでたくましい児童の育成を目指し，知・徳・体の調和の取れた生きる力を育む教育課程を編成する。
- （３）生きる力の基礎となる資質・能力を育成し，自ら学び，自ら考える力の育成と基礎的・基本的な学力の確実な定着と向上が図れるよう，各教科・特別の教科道徳・特別活動及び総合的な学習の時間・宇都宮学・プログラミング的思考力を育成する学習・外国語活動及び外国語科の特性を生かしながら，本校ならではの「学び続ける力」を核とした教科横断的な視点に立って教育課程を編成する。
- （４）小中一貫教育の趣旨を踏まえた各教科等の「育てたい力」を教育課程に反映させ，義務教育 9 年間を通じた学力保障につなげることができるようにする。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
- ・全教職員による目的の共有化と学校経営参画意識の醸成
- 校務・事務の適正化と勤務時間を意識した働き方改革の推進
- (2) 学習指導
- ・よりよく生きるために学び続ける児童の育成
- 主体的・対話的で深い学びを通して「学びの実感」をつくる
- (3) 児童生徒指導
- ほめて育て、認め合う指導の徹底とお互いを尊重し合える人間関係の確立
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力
- 自ら体力を伸ばす態度や自己の健康管理能力の育成を図る指導

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人が主体的に授業に参加し，自分の考えをもって学習が進められるように授業の展開を工夫する。 ②児童が互いの意見を交流させることができる場の設定を意図的に設定する。 ③「学習の約束」の指導を徹底することで，聞き方や話し方の基本を身に付けさせる。 ④児童一人一人が「学び続ける力」を身に付けられるようカリキュラム・マネジメントに努め各種計画に反映させていく。 ⑤振り返り活動「今日の学び」を授業の終末時に行うことで学びの意識付けができるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①学校生活全般にわたり，他者に対して優しく接する行動や思いやりのある行動が見られる児童を賞賛するとともに，すべての教育活動の場で支援・指導する。 ②道徳教育の充実を図る。 ③主に学級活動や朝や帰りの会において，学級での認め励まし合う活動を通して思いやりの心を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人の目標と目指す子ども像を関連付けることで「元気・がんばり・思いやり」を明確にして取り組んでいけるよう支援する。 ②校長表彰や各種表彰の機会を生かし、児童一人一人のよさを認めることで、活動意欲を喚起する。 ③児童発案による夢プロジェクトを充実させることで、目標に向かって学校生活が送れるようにする。 ④夏休み前に記入する自己評価シートやキャリアパスポートなどを活用して、児童が頑張っている様子や努力の成果が保護者に伝わるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
1-(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人の安全に対する意識が高められるよう、具体的な場面での安全指導を充実させる。 ②定期健康診断の結果を活用し、自分の体や健康に関心をもたせる。 ③掲示物「コロナウイルスをやっつけろ」や健康委員会呼びかけ、換気チェック等、本校ならではの新型コロナウイルス感染症対策を周知徹底し、家庭とも連携して感染防止に努める。 ④児童の好き嫌いを減らしたり、健康的な食習慣を身に付けたりできるように、食育指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学級活動を計画的に実施することで、楽しく豊かな学校生活を築くための基礎となる学級内の好ましい人間関係を育て、集団のなかで自己を生かすことができるようにする。 ②係活動は、児童が創意工夫できる内容とし、定期的に見直し改善を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①中学校からの高学年への英語乗り入れ授業を月1回実施することで、児童の英語を使ったコミュニケーション力の向上を図る。 ②業間や昼休みに、児童とALTと一緒に過ごす時間を確保する。内容は、外遊びや読み聞かせ、クイズ大会などを行い、ALTとの関わりが増えるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①「ふるさとウォークラリー」等を通して歴史的な文化財や史跡が点在する自分の学区に興味をもたせ、宇都宮のよさに気付かせる。 ②宇都宮のよさについて学ぶ児童の姿を学校ホームページで保護者への周知を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学習場面に合わせてパソコンやタブレット等のICT機器や図書等を学習に効果的に活用する。 ②学校図書館司書業務嘱託員と連携し、学習に関連する図書の紹介と図書館の利用喚起を図る。 ③情報教育主任による校内への情報発信やICT支援員との研修において教職員のタブレット活用の教育実践力の向上を図り、児童が「日常の文具」としてタブレットを活用できるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について関心をもっている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①環境問題を教科横断的に捉え、日常生活と深く結びついていることに気付かせるとともに、日常の具体的な行動に結び付けられるよう、働きかける。 ②児童が持続可能な社会について自ら意識して取り組むことができるような活動内容を工夫する。 ③係活動や委員会活動で、掲示物や配付物等にSDGsのアイコンを入れることで、児童の関心を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童の実態を的確に捉え、全教職員が共通理解を図る場を適宜設定する。 ②短期的な目標、中期的な目標の共有を図るとともに、保護者、S C、関係機関と連携しながら、一貫性のある支援ができるよう、工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ・全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①「西原小学校いじめ防止基本方針」について共通理解を図り、教職員は児童理解を深め、信頼関係の構築に努める。 ②「いじめゼロ強化月間」を設定し、児童会を中心とした児童主体の取組を行うとともに、授業や生活のあらゆる場面をとらえていじめを許さない態度や実践力を育て、活動の様子を保護者に積極的に伝えていく。 ③児童や保護者からの相談に誠意をもって対応するとともに、指導の記録を残す。 ④学年の発達の段階や状況に応じた、「さん」付けの呼び方により、いじめを生まない風土づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①学校として組織的な不登校対応について共通理解を図るとともに、児童の実態や家庭環境等を十分把握した上で、個に応じた支援や指導を行う。 ②児童一人一人が「居がいい」を感じる学級づくりを基本としながら、さまざまな活動の中で、成就感や満足感を味わうことができるような学級経営を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。	①校長表彰の機会を活用するなど、児童一人一人の頑張りやよさを認めたり、善行を奨励したりする場を設定	【達成状況】 【次年度の方針】

3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	【数値指標】 ・全体アンケート「先生は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしたりして、児童が楽しく学校生活を送れるようにしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童が明るいきいきと学校生活を送れるようにしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「学校行事等において、様々な立場の児童が、互いを尊重し協力し合って活動を行っている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	し、認め励ます教育を推進する。 ②多くの児童が認められ活躍できる機会を増やし、特別活動を中心に児童が生き生きと主体的に活動し、楽しく学べるようにする。 ③本校ならではの取組や活動の様子を反映させた作品等の掲示を工夫することにより、学校全体に楽しい雰囲気醸成する。 ④ペア学習やグループ学習など活動形態を適宜工夫し、主体的に活動する場面を多く設定することで、満足感が味わえるようにする。	
4-(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学力調査に基づいた基礎基本の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的な学習の展開と発問の工夫及び振り返り活動の充実に努める。 ②発達の段階や個性に応じた学習支援を大切に、家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化を目指す。 ③教職員が連携し、学年間で定期的に教科指導の在り方や教材研究について話し合う機会を設け、よりきめ細かな指導を目指す。 ④教科担任制の導入により、それぞれの専門性を生かして質の高い授業を展開することによって、児童の学力向上を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
4-(2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①職員全員が、それぞれの立場で積極的に児童と関わりながら、各自の専門性を生かして職務を遂行する。 ②かがやきルーム指導員、学校図書館司書、学校栄養士、学校業務員等、それぞれの勤務形態の可能な範囲で、児童会活動や職員研修等への参加を呼びかけ、「チーム学校」を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】

4- (3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①学校図書館司書、かがやきルーム指導員、学校栄養士、ALT等の専門性を生かした校務の分担を工夫する。 ②勤務時間の自己管理を通して、勤務時間を意識した働き方に努めるとともに、定時退勤や年休取得を進め、働き方に対する意識の変革を図る。 ③趣旨や目的を踏まえながら業務内容の縮減が可能な学校行事を見直したり、月に1回以上のリフレッシュデーを各自設定し、実行したりする。 ④西原小のとびらや掲示板、HPの活用により、可能な限り業務を縮減し、ペーパーレス化を進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「学校は、小学生と中学生の交流の場をつくったり、掲示物で互いの学校の情報を伝え合ったりする「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 85%以上	①地域学校園一体となったあいさつ運動を展開する。 ②情報モラル教育に対して共通理解のもと保護者への啓発を行う。 ③地域学校園お弁当の日の実施や投げの力や走力アップへの取組、低視力対策などを連携して行い、地域や保護者にその情報を発信する。 ④各教科等における地域学校園「育てたい力」を意識しながら、日々の学習活動に取り組むとともに、各種データに基づく検証を行う。 ⑤各種便りや学校HPで地域や保護者への情報発信を継続することで、「小中一貫教育・地域学校園」の取組について、周知する。 ⑥各種便りや学校HPで地域や保護者への情報発信を継続することで「小中一貫教育・地域学校園」の取組について、周知する。	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充	①保護者やサポーター会議（魅力ある学校づくり地域協議会）、地域団体等	【達成状況】 【次年度の方針】

5- (3) 地 域 と 連 携 ・ 協 働 し た 学 校 づ く り の 推 進	実を図っている。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、家 庭・地域・企業等と連携・協 力して、教育活動や学校運営 の充実を図っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	に本校のグランドデザインを分かり やすく示すことで、地域に開かれた学 校づくりに努める。 ②教職員が可能な限り地域の行事に 参加し、相互理解が深まるよう努め る。 ③企業の協力を得た出前授業や地域 と連携した体験活動を教育活動に盛 り込んでいく。	
6- (1) 安全で快適 な学校施設 整備の推進	A 19 学校は、利用する人の 安全に配慮した環境づく りに努めている。 【数値指標】 ・全体アンケート「学校は、利 用する人の安全に配慮した環 境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回 90%以上	①日常的に施設設備の安全に目を配 り、修繕が必要な場合は迅速に対応す る。 ②定期的に安全点検を実施するほか、 生活当番を中心として日常の校内巡 視を行い、安心して生活できる環境づ くり努める。 ③校内施設の担当者や使用者は、普段 から物品管理、整理整頓を行い、安 全で安心できる環境づくりに努め る。	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジ タル化推進	A 20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができている。 【数値指標】 ・全体アンケート「教職員は、 授業（授業準備も含む）や業 務の改善に、デジタルを積極 的に活用している。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①大型テレビやパソコン、タブレット 等の有効活用に努め、児童が I C T 機 器に触れる機会を多く持てるように したり、学習指導に役立てたりする。 ②計画的に図書・教材等選定委員会を 開き、分類ごとの過不足や利用状況等 をもとに、図書室の利便性を高める手 立てを検討する。 ③G I G A スクール構想について保 護者への周知に努めたり、環境整備 や児童のスキル向上を目指したり する。	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学 校、地域 学 校 共 通、本校 の特色・ 課題等	B 1 児童は、時と場に応じ たあいさつをしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、時 と場に応じたあいさつをして いる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①児童会活動を中心とした「朝のあい さつ運動」や「地域学校園あいさつ運 動」を実施する。 ②日常的に「こんにちは」「ありがとう ございます」等の挨拶が自ら進んでで きよう、教職員から積極的に声かけ を行う。 ③来校者や校外でも挨拶が<u>しっかり できるように</u>、具体的に指導していく とともに、機会を捉えて保護者や地域 にも協力を呼びかける。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ・全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「児童は、登下校での交通ルールなど、きまりやマナーを守って、生活している。」 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	①「学習の約束」や「西原小よい子の一日」、「西原小みんなのやくそくGGO」の指導徹底を図るとともに、児童自身が自分の生活を振り返り、規範意識を高める機会を定期的に設ける。 ②生活当番活動を通して、日常の生活の様子を把握し、校内の巡視等を行うとともに、実生活の場で直接指導する。 ③学校生活に関わるルールを整理し、教職員も児童も分かりやすく示すことで、全教職員が共通理解のもと、同一歩調で指導にあたる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 児童は、1時間の学習を通して学びの実感が得られている。 【数値目標】 ・全体アンケート「児童は、初めて知ったことや自分の考えで変わったことを分かりやすくまとめている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童が自分の考えをうまく表せるよう授業の展開や指導方法を工夫している。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①思考の変容が見える板書を工夫したり、お互いの考えを交流させたりする活動などを取り入れながら考える力を伸ばす。 ②思考を深めたり、学びを蓄積したりするノートづくりへの支援に努め、児童が自らの学びを実感できるような振り返り活動を充実させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 児童自ら判断し、主体的に取り組むことができる活動の充実に向けている。 【数値目標】 ・全体アンケート「児童は、自分で判断し工夫して学校行事や係活動などに取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童自ら判断し活動できるような場の設定や支援を行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①活動の目的をきちんと捉えさせ、自分の活動をイメージさせた上で、より具体的に自分のめあてをもたせる。 ②児童が自ら計画・実践できる機会を増やし、より主体的に活動できるように支援する。 ③学校行事や係活動の目的と目指す子ども像を関連付けることで、児童が目的を意識した取組が図れるように支援する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B5児童は目標をもって自分の健康や体力の向上に進んで取り組んでいる。 【数値目標】 ・全体アンケート「私（児童）は、めあてをもって自分の健康や体力の向上に進んで取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ・全体アンケート「教職員は、児童の健康や体力の向上のための活動を工夫して行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人の状況を把握した上で、保健指導や体育の授業の充実を図り、自分の健康や体力に関心をもたせる。 ②委員会が主催する体育的イベントへの積極的参加を促し、運動の日常化を図る。 ③教科体育の充実を図り、そこで得た学びを学校生活や家庭の時間に広げるために、児童会や家庭と連携しながら活動を進める。 ④学年だよりや体育の宿題を通して、健康や体力向上の取組を家庭へ広げていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B6教職員は自らの資質向上を目指して、研修を深めている。 【数値目標】 ・全体アンケート「教職員は、資質向上のための取組を積極的に行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①自ら立案した研修計画を基に各種研修等に積極的に参加している。 ②一人一授業等の取組を通して授業改善に努めている。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。